



衆議院議員

堀内のりこ 特集

8月号

安倍首相に「日本一」の峡東産PR

JAから託され桃とブドウ贈る

堀内代議士は7月22日、富士北麓の別荘で夏休み中の安倍首相を訪ねて、JAふえふき(小池一夫組合長)から託された笛吹市産の桃とブドウを贈り、「味も生産量も日本一です」とPR。「果樹農業への一層の支援をお願いします」と要望しました＝写真。

一昨年4月、県内の雪害状況を視察した安倍首相は「雪害を乗り越え、大変よかった。これからも農業への支援はしっかり取り組みます」と答えていました。

またJAフルーツ山梨(中澤昭組合長)は7月4日、参院選応援で甲州市に入った林芳正元農林水産大臣と小泉進次郎自民党農林部会長に、同JA管内で収穫した桃とブドウを贈り果樹農業への理解と支援を求めました。



谷垣幹事長と茂木選対委員長から激励 山梨二区支部長の確定受けて

堀内代議士は4月、自民党の山梨二区支部長の確定を受けて、谷垣禎一幹事長と茂木敏充選挙対策委員長と党本部で会い、次期衆院選の選挙対策について話し合い、激励を受けました。



谷垣幹事長(上の写真)と茂木選対委員長(下の写真)から激励を受ける



リニア「東京・大阪間」8年前倒し開業を目指す 堀内特別委事務局次長「山梨にメリット大きい」

自民党の超伝導リニア鉄道に関する特別委員会が7月20日開催されました＝写真。安倍首相が経済対策の中で、リニア中央新幹線の全線開業を最大8年間前倒しすると指示したことを受けたものです。

同委員会の事務局次長を務めている堀内代議士は「大阪までの全線開業の前倒しは山梨県にとっても観光など幅広い産業にさまざまな効果が期待できる。自民党として事業の加速化を目指す」と話しています。

JR東海の想定開業は2027年に東京・名古屋間、2045年に東京・大阪間としています。



テレビのトーク番組にゲスト出演 「家庭と政治」「女性活躍」を語る

堀内代議士は7月19日と26日に放送されたテレビBS11のトーク番組「リベラルタイム」にゲスト出演しました。7月の番組タイトル「若手議員に聞く」の中で出演依頼を受けたものです。

聞き手は月刊リベラルタイム誌の渡辺美喜男編集長とタレントの田代沙織さんで、堀内代議士は19日＝写真＝に「家庭と政治」、26日に「少子化と女性活躍推進」のテーマで、女性政治家としての政策への取り組みについて語りました。



堀内代議士が御礼のあいさつ

「日々刻々と動く時代の中に政治があり、そこに身を置く者として責任の重さをひしこしと感じています。ディレクテナを国際社会の中で政権与党の自民党の中で働かせて頂いている光栄を身に感じながら、諸先輩の温かい言葉を胸に責務を果たしていきます」



「堀内のりこさんを励ます会」が7月19日、「故郷内光雄先生を偲ぶ会」を兼ね、外務大臣の岸田文雄池田会(岸田派)会長が発起人になって東京で開かれました。政教・経済界をはじめ、在京の山梨県関係者など合わせて400人が出席。自民党幹部や安倍内閣の閣僚から堀内代議士への評価と期待の言葉が相次ぎました。

励ます会は宏池会名誉会長の古賀誠元自民党幹事長が「光雄先生には、政治、経済ともに、国のため故郷のため力の限り尽くして頂いた。政治の道の後継者である詔子さんには、これから山あり谷ありの道がある。それを立派に乗り越えて、ますますの活躍を期待している」とあいさつして乾杯の発声を行い敬談に入りました。会の司会は森田宏参議院議員を務めました。

政治活動への評価と期待の声相次ぐ
東京で「堀内のりこさんを励ます会」
党幹部や閣僚が次々と登壇

山梨の発展にピュアな発想力を期待
石破茂地方創生担当大臣(※写真上)

光雄先生は石油公団の廃止や郵政民営化への対応など、国家のためなら微動だにしない政治家だった。県連女性部から強い要望を受けて、詔子さんの新2区擁立を決めたのは、私の幹事長としての初仕事だった。山梨県は健康寿命や空き家率、住んでみたい県がいつも全国最上位。可能性を秘めている山梨県の発展に、詔子さんのようなピュアで女性ならではの発想が必要」

山梨にアベノミクス届けろ
石原伸晃経済再生担当大臣(※写真右)

「詔子さんは山梨県にもすっかりアベノミクスが届くようがんばっている。光雄先生の遺志を継ぐ詔子さんに大きな期待をかけている。今日は都知事選に立候補している増田寛也候補とともに参加させて頂いている。ご支援をお願いしたい」

郵便局の活性化に
建設的な意見
高市早苗総務大臣(※写真右)

「詔子さんには、場所や時間にとられない働き方であるテレワークの推進に力を発揮して頂いている。また郵便局の活性化に向けて、建設的な意見が政策にも反映されている。女性の生き方として立派な考え方を持っている、女性活躍推進という政策を掲げる今、期待できる政治家だ」



「励ます会」の乾杯の発声をする古賀誠宏池会名誉会長(中央)。壇上は宏池会所属の衆参国會議員＝東京・都市センターホテル

真正面から本筋突く質問
塩崎恭久厚生労働大臣(※写真左)

「厚生労働委員会での詔子さんは、人柄にも示されているように、真正面から本筋を突いた質問をする委員だ。性格がそのまま政策にも生かされている。妻の実家が甲府であることも父が初代の宏池会事務総長だったため、光雄先生にも親しく指導を頂いた」

たくましさを感じる政治活動
林芳正宏池会座長(前農林水産大臣)(※写真右)

「光雄先生からは石油公団廃止にみられるように政治家としての強い信念を学んだ。詔子さんはおおらかさに加えてしっかりしたたくましさを感じるようになった。このまま政治家として伸びていくことが天上の光雄先生の喜びでもあるはず」

党内多くの議員から信頼を得る
発起人代表:岸田外務大臣(※写真上)

「光雄先生に指導頂いた者として、あらためて存在の大きさを痛感している。光雄先生の政治の志を詔子さんが継いでいる。選挙区の区割りもあつた2期目の今、懸念に足を固めている。政策面での評価は高く、党においては一番忙しい内閣部会の部会長代理として党内の取りまとめ役を務めて信頼を得ている」

おおらかさと貪欲さ備える
茂木敏充選挙対策委員長(※写真右)

「政治家にはおおらかさと貪欲さが必要。詔子さんは元来おおらかさがあり、2期目に入ってから貪欲さができた。党员集めは他の議員を圧倒し、集会への人集めもすごい。これはしっかり支持者と連携が取れてきた証拠だ。参院選でも頑張ってくれた。自民党は国民の信頼を得ながら女性が中心になって頑張ってもらわなければならない。詔子さんはその中心にいる一人だ」

富士山を守る議連の同志
細田博之自民党幹事長代行(※写真右)

「政策通だった光雄先生は稀代の政治家だ。リニア中央新幹線の推進に欠かせない存在だった。詔子さんは医療、福祉を中心に女性ならではの政策をしっかりと持っている。私は自民党の美しい富士山を創り守る議連の会長を務めているが、事務局長の詔子さんは同志。今、ともに頑張っている」



合同葬に臨む葬儀委員長の安倍首相

堀内のりこ代議士の義父堀内光雄元通産大臣・元自民党総務会長が5月17日逝去されました。享年86歳。5月30日に東京青山三軒山葬儀所で合同葬・葬儀委員長・安倍晋三首相、6月1日に富士吉田市でお別れの会が執り行われまふ。堀内代議士はホームページとフェイスブックにて、以下のあいさつを載せました。

(要旨)

さまざまな報道で、30年にも及ぶ堀内光雄の政治活動について評価を頂きます。リテ推進への取り組み、行政改革を進める中で石油公団の廃止を実現させた実績、さらには政治家としての先見性、気配り、行動力などの評価まで、たくましさの報道を見ました。石油公団の不適正経理は自ら調査して告発、解散に追い込んだ時は、政治家としてのすさまじい執念を見ました。また平成24年、郵政民営化法が改正され、郵政事業が再び郵便局で一本化された時、これで郵便局の全国のネットワークが維持され、かつてのように郵便配達員が貯金や保険を扱えることになる。喉に刺さった小骨がようやくとれた思いがすると、ご心配をおかけした方々に2千字を超える手紙を送ったことにも、父の強い信念を感じました。生活者の視点を中心に考える、ブレない政治姿勢を尊敬しておりました。父の歩んだ清廉な政治の道を受け継ぎ、力強く邁進していく所存です。

堀内のりこ 連絡先

- 国会事務所 〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館407号室
TEL:03-3581-5111(内線) FAX:03-3508-3367
- 吉田事務所 〒403-0004 富士吉田市吉田5-26-10
TEL:0555-23-7688 FAX:0555-23-7879
- 峡東事務所 〒406-0031 笛吹市石和町市部1026
TEL:055-261-3688 FAX:055-261-3636